

令和6年度第1回
岡山市男女共同参画専門委員会要旨

- 1 日 時 令和6年5月17日（金） 午後1時30分～午後2時30分
- 2 場 所 岡山市役所議会棟3階第1会議室
- 3 出席委員 栢野委員、岸委員、木山委員、田村委員、中塚委員、水ノ上委員、山本委員、柚木委員
- 4 出席職員 （市民協働局）田中局長、森安次長
（女性が輝くまちづくり推進課）大下課長、篠原担当課長、
繁定課長補佐、大熊主査
（人権推進課）佐藤人権担当部長、加藤課長、池本課長補佐
- 5 傍聴者 なし
- 6 次 第
（開会）
市民協働局長挨拶
（1）議事
①委員長・副委員長の選任（資料1）
②令和6年度女性が輝くまちづくり推進事業概要（資料2）
（2）その他
- 7 配付資料
資料1 岡山市男女共同参画専門委員会委員名簿
資料2 令和6年度女性が輝くまちづくり推進事業概要
資料3 岡山市男女共同参画専門委員会スケジュール
資料4 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律のポイント
資料5-1 岡山市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱の改正
資料5-2 （参考）岡山市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱

8 会議の状況

（1）議事

議事①委員長・副委員長の選任

委員長に岸委員、副委員長に中塚委員を選任した。

議事②令和6年度女性が輝くまちづくり推進事業

○説明内容

資料2について事務局から説明

○意見等

- ・認証制度はその後の検証はどのようにされているのか。毎年それが持続できているか、検証をしているのか。数字を見るだけなのか。
→2年ごとの更新。立ち入りはしていないが、書類上で就業規則、育児休業、介護休業など、会社の規定などを出していただいて、その中身をチェックしている。
- ・企業からすると、何らかのメリットがないと応募しにくいのではないかと。例えばこ

の企業で働けば、女性も活躍しやすいんだということを学生に向けて発信したり、人材不足でどこも困っていると思うので、アピールをうまくすれば良いのではと感じた。

→学生が一目見て、“制度がしっかりしている企業なんだな”というところの周知はできていない。今後、そういったことも取り入れながらやっていきたい。

- 認証制度は知らない企業が多いと思う。例えばSDGs推進パートナーズとの合わせ技で、これもありますという資料を入れるだけでも違うのではないか。

→広報については今までの方法だけではなく、もう一歩いったところまで届く広報を考えたいと思う。

- 市と商工会議所の関係は密で、企業の方もたくさんいらっしゃる。発信はすごい。ぜひとも商工会議所と連携し利用して欲しい。

(2) その他

○説明内容

資料3・資料4について事務局から説明

○意見等

- 特になし

○説明内容

資料5-1・資料5-2について人権推進課から説明

○意見等

- 主旨は賛成。事実婚の定義については、同性パートナーの方も事実婚と思っている方もおられるので注意を。

→我々の認識としては、異性間の婚姻をしていないパートナーを認めていこうという主旨でさせていただこうと思っている。その辺は注意しながら進めていく。

- パートナーシップ制度を岡山市が始める時、ぜひファミリーシップ制度もして欲しいと言った。やはりファミリーシップ制度も含めて進めていくよう、考慮いただきたい。

→ファミリーシップ制度の話はパートナーシップ制度導入の時にもあり、市の中でも何度かそういう話が出ているところもある。県内や政令指定都市で導入しているところもあるが、ファミリーシップの宣誓はなかなかない。パートナーシップの関係であれば、運用上で社会的な認知が広がり、提示すればファミリーとして受け入れてくれるサービス、提示がなくても受けられるサービスが広がっており、現段階では導入には至っていないという状況。

- 宣誓がないから、ということではなく、取扱いとしてはファミリーシップ制度と同じようにそのパートナーのお子さんもファミリーなんですよ、と書き加えていただくなどしてはどうか。

→ご意見も踏まえながら内部で議論したい。

○次回（第2回）会議について

第2回会議を8月頃を開催予定。日程調整は改めてお願いする。